

特定非営利活動法人
日本ジオパークネットワーク
理事長 米田 徹 様

認知度調査 不満抽出・改善調査 報告書

2022年3月18日
一般社団法人地域経営推進センター
代表理事 中村 健
青木 佑一

目次

認知度調査/不満抽出・改善調査 2021.....	2
I. 調査の目的	2
II. 認知度調査 2021 の概要	2
III. 認知度調査 2021 の分析	4
IV. 不満抽出・改善調査 2021 の概要	10
V. 不満抽出・改善調査 2021 の分析(単純集計・クロス集計).....	12
VI. 考察	33
VII. 全体総括	37

認知度調査/不満抽出・改善調査 2021

I. 調査の目的

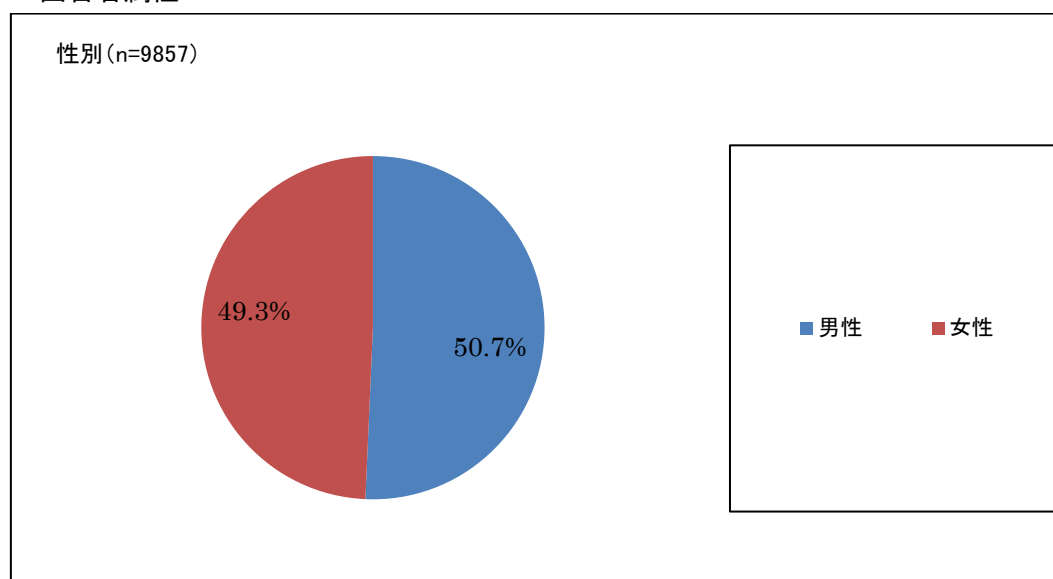
「ジオパーク活動が、ジオパーク所在の地域住民やそれ以外に住む一般市民にどの程度認知されているのか」などの把握のため、インターネットを使ったアンケート調査を実施して現状把握し、訪問者がもつ不満点の抽出と改善につなげる。

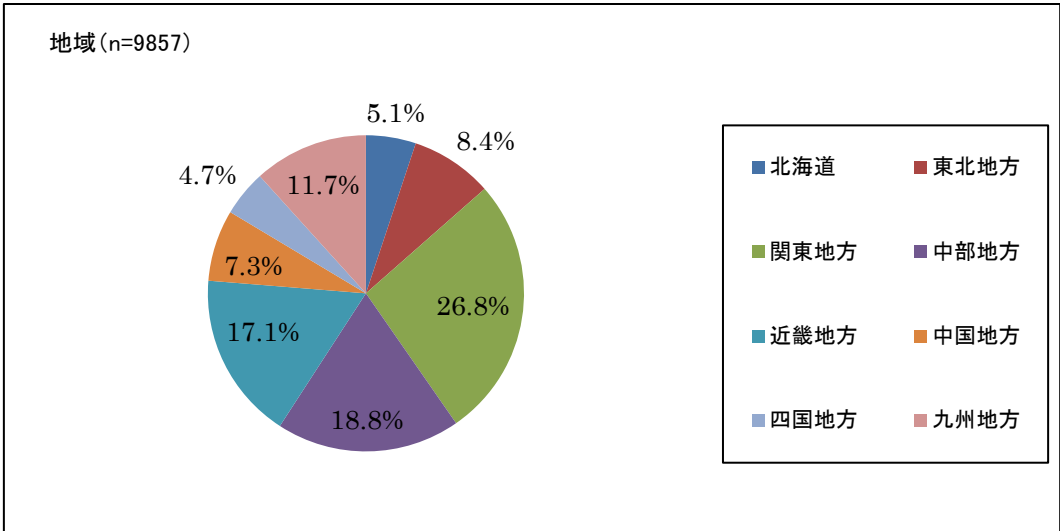
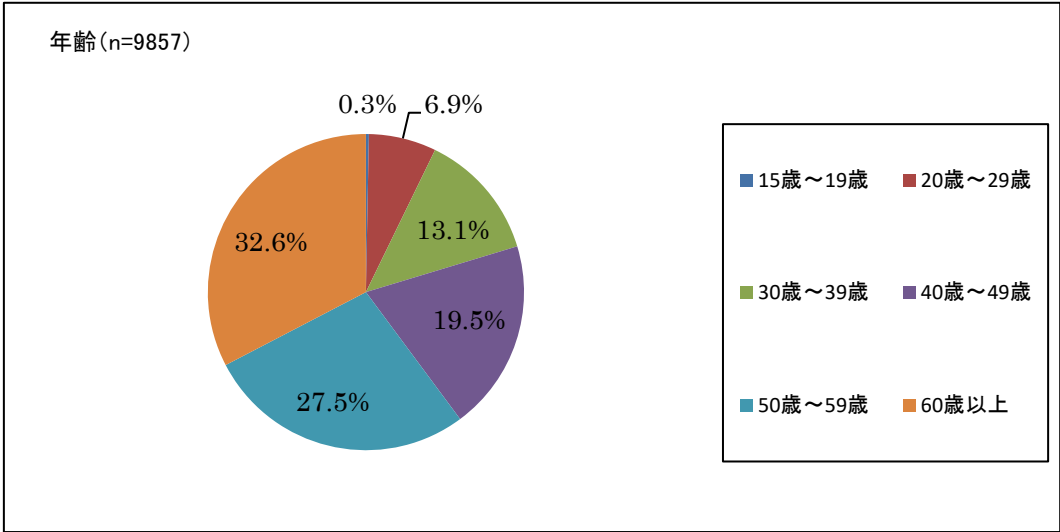
本調査では、「ジオパークは認知されているか」、「訪問して感じた改善点や不満はあるのか。それをどのように改善できるか」、を検討課題として設定とし、「ジオパーク」自体の認知度と訪問しての満足・不満の状況、さらに改善点と不満の抽出につながる意識調査・分析を行い、上記検討課題について考察する。

II. 認知度調査 2021 の概要

■ 調査名	ジオパーク認知度調査 2021
■ 調査方法	インターネット調査
■ 実施期間	2022 年 02 月 04 日～12 日
■ 調査対象	全国の男女 18 歳以上 ※各都道府県で 100 回答以上を回収できるよう割り付け。
■ 全回答数	10,924 回答
■ 有効サンプル数	9,857 回答

▽回答者属性





■回答者属性の特徴と留意点

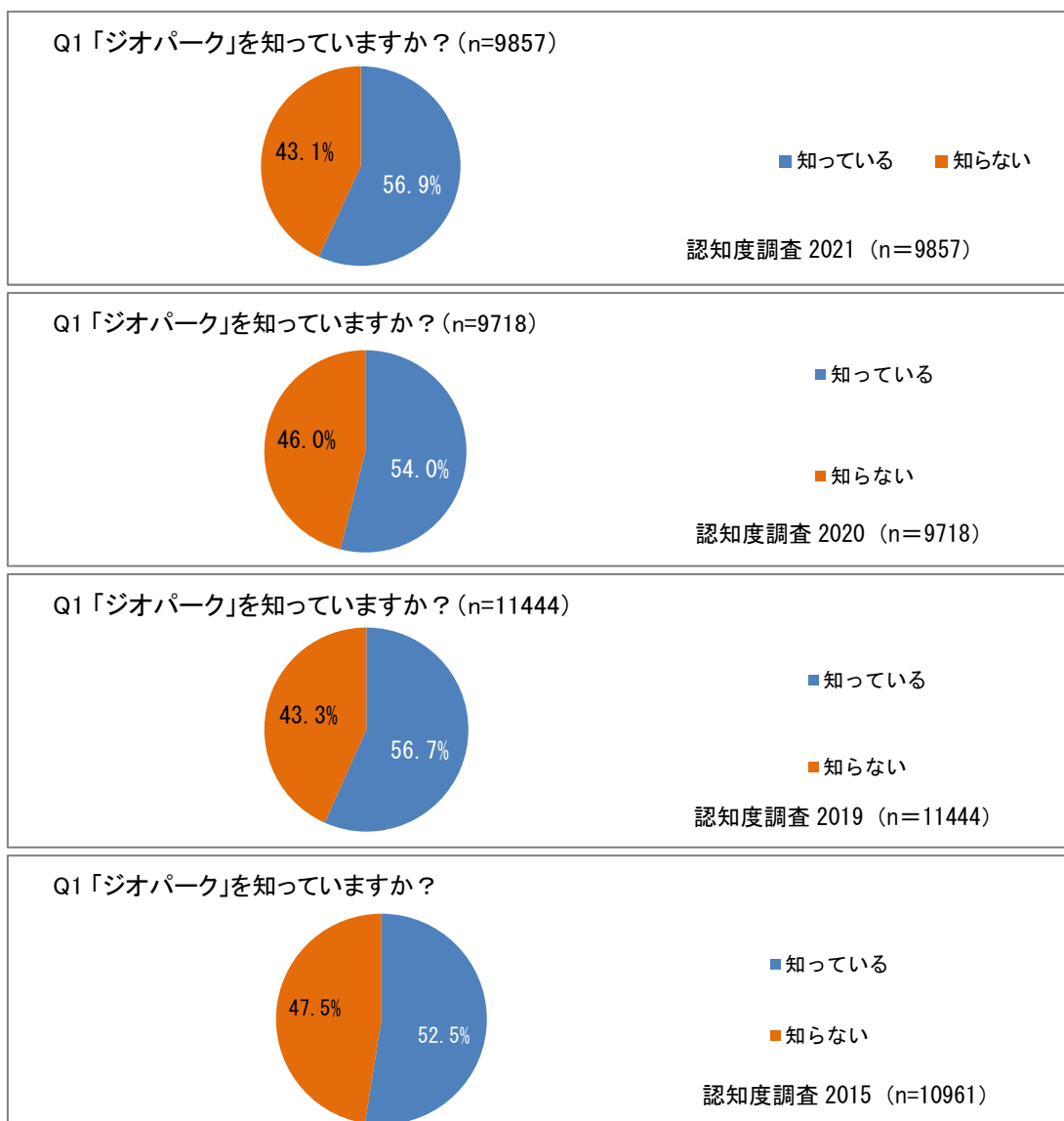
男女比は、調査時に割り付けをしたためほぼ同率。

年代ごとの回答数は、60代以上が32.6%と割合が多く、50代は27.5%、40代は19.5%と一定数いる。なお、各都道府県で100回答程度を集めることを重視して割り付けをしたため、年代の割合は実際の人口比とは異なる。

地域ごとの回答は、都市圏が多いが、人口比で見ると北海道が少ない。なお、男女とも10代(18～19歳)は回答数が少なく参考値としている。

III. 認知度調査 2021 の分析

[1] 全国の認知度 (n=9857) ※過去の結果は 2015 年、2019 年、2020 年を表示



■ 回答の特徴

およそ 1 万人に「ジオパークを知っていますか？」と調査した結果、ジオパークを「知っている」と回答したのは、前回と比べ 2.9 ポイント増の 56.9%だった。

クロス分析として性別・年代別の結果をみると、年齢が高ければジオパークの認知度が高いなど例年通りの傾向が見られた。男女でいうと、男性のほうが認知度は高く、40 代以上では半数を超え、60 歳以上では 7 割を超える。女性は、50 代以上で 5 割を超えた。

また、地域別でクロス集計をすると、地域的な傾向はほぼ前年度と変わらず、四国地方と中国地方、東北地方、九州地方、北海道、中部地方の順で高かった。一方、都市圏の近畿地方はやや認知度が低い傾向があり、関東地方は「知っている」と「知らない」が拮抗している。

クロス分析：性年代×認知度／地域×認知度

Q1 「ジオパーク」を知っていますか？

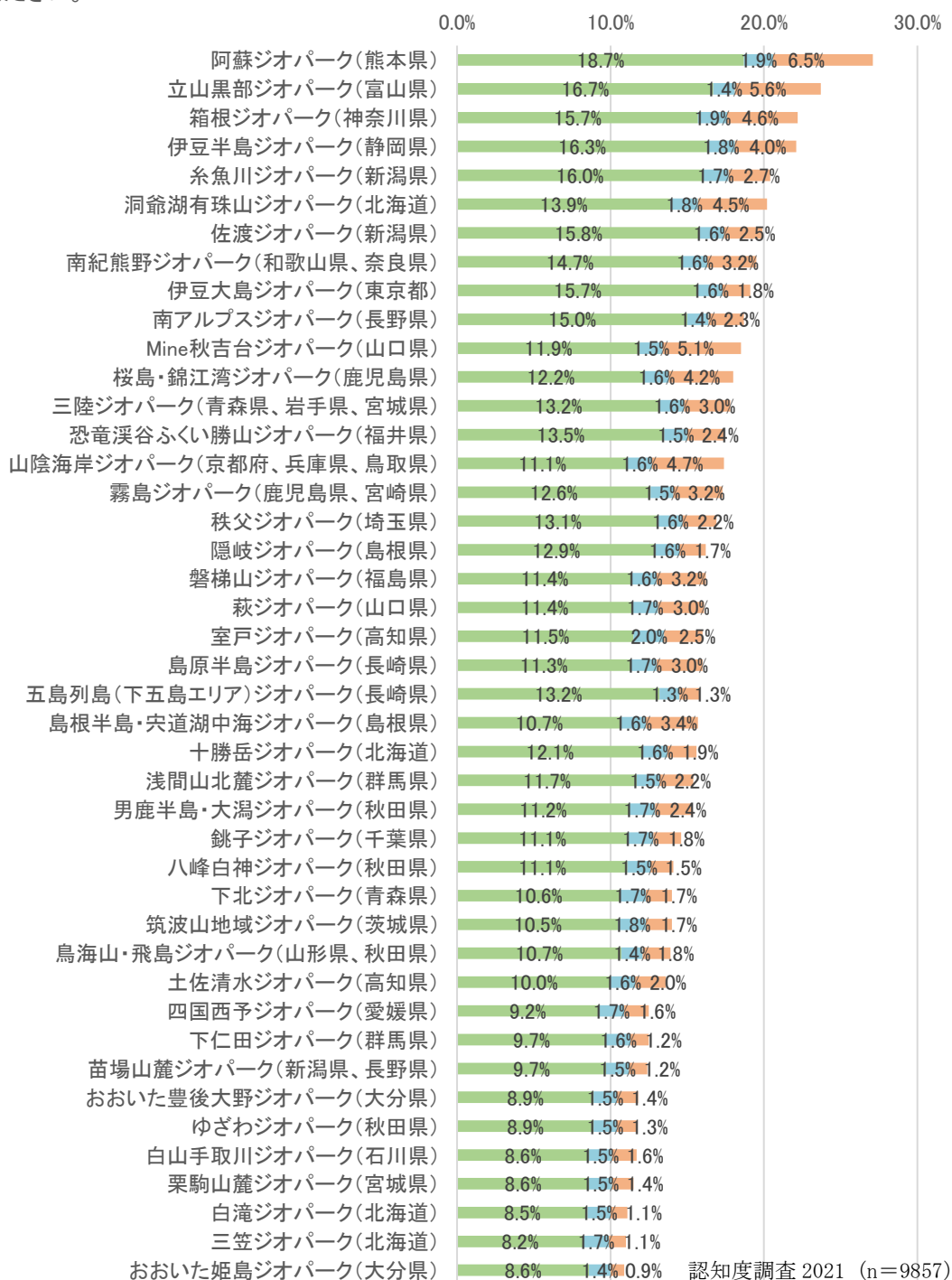
		n	Q1	
			知っている	知らない
全体		9857	56.9%	43.1%
性年代別	男性 15～19 歳	6	50.0%	50.0%
	男性 20～29 歳	137	40.9%	59.1%
	男性 30～39 歳	332	44.0%	56.0%
	男性 40～49 歳	807	58.5%	41.5%
	男性 50～59 歳	1515	63.6%	36.4%
	男性 60 歳以上	2198	74.2%	25.8%
	女性 15～19 歳	28	39.3%	60.7%
	女性 20～29 歳	539	35.1%	64.9%
	女性 30～39 歳	958	39.0%	61.0%
	女性 40～49 歳	1120	44.7%	55.3%
	女性 50～59 歳	1199	53.4%	46.6%
	女性 60 歳以上	1018	61.5%	38.5%

		n	知っている	知らない
地域	北海道	501	58.7%	41.3%
	東北地方	829	64.3%	35.7%
	関東地方	2642	51.2%	48.8%
	中部地方	1856	55.9%	44.1%
	近畿地方	1689	54.2%	45.8%
	中国地方	722	64.5%	35.5%
	四国地方	464	69.4%	30.6%
	九州地方	1154	59.9%	40.1%

※Excel「条件付き書式」を利用し、数値が高い項目はより赤に、低い項目はより青くなるように表示している。

[2] ジオパークごとの認知度と訪問度 (n=9857)

Q2「ジオパーク」についてあなたにもっとも当てはまるものを1つだけお選びください。



認知度調査 2021 (n=9857)

■ 名前を知っているが、訪問したことはない ■ 訪問したが、不満を持った ■ 訪問し、満足を感じた

■回答の特徴

ジオパーク 46 か所を対象に、【A】「認知度」(選択肢①「名前は知っているが、行ったことはない」+②「訪問したが、不満を持った」+③「訪問し、満足を感じた」を足し合わせた数値＝認知の度合い)と、「訪問して感じた満足度、不満足度」を聞いた。上記のグラフでは「認知度」の高い順で並べている。

結果は、「阿蘇ジオパーク(熊本県)」が 27.1%(前述の①「名前は知っているが、行ったことはない」18.7%、②「訪問したが、不満を持った」1.9%、③「訪問し、満足を感じた」6.5%)と最も多く、次に「立山黒部ジオパーク(富山県)」が 23.7%(①16.7%、②1.4%、③5.6%)、さらに「箱根ジオパーク(神奈川県)」「伊豆半島ジオパーク(静岡県)」「糸魚川ジオパーク(新潟県)」と続いた。

また、【B】「訪問度(②+③を足し合わせた数値)」については、「阿蘇ジオパーク(熊本県)」が 8.4%と認知度に続いてトップ。続いて「立山黒部ジオパーク(富山県)」が 7.0%、続いて「Mine 秋吉台ジオパーク(山口県)」が 6.6%と健闘している。さらに「箱根ジオパーク(神奈川県)」「洞爺湖有珠山ジオパーク(北海道)」「山陰海岸ジオパーク(京都府、兵庫県、鳥取県)」「伊豆半島ジオパーク(静岡県)」などが続いている。

上記に加え、【C】「不満割合(【B】訪問度÷②不満)」を降順に並べた表も作成した(下記)。おおむね「訪問度」が高いジオパークが上位にきているが、一部ジオパークは認知度や訪問度があまり高くなくても、不満割合が低いところもあり、訪問者に満足してもらうことに成功していると言える。不満が満足を上回る(＝不満割合が 50%以上)のジオパークはぜひ上記の不満割合の低いジオパークの取り組みを参考にしてほしい。なお、訪問度自体が 3 ポイント未満のジオパークは、不満割合自体が誤差の範囲ということもあり得る。必要以上に悲観せず、活動の振り返りや、他ジオパークの取り組みを学ぶきっかけになれば幸いである。

表：【C】「不満割合」の降順で並べたジオパーク一覧

ジオパーク名	【A】 認知度		【B】 訪問度		【C】 不満割合	
	位	①～③	位	②+③	位	【B】÷②
立山黒部ジオパーク(富山県)	2	23.7%	2	7.0%	46	20.0%
阿蘇ジオパーク(熊本県)	1	27.1%	1	8.4%	45	22.6%
Mine 秋吉台ジオパーク(山口県)	11	18.5%	3	6.6%	44	22.7%
山陰海岸ジオパーク(京都府、兵庫県、鳥取県)	15	17.4%	5	6.3%	43	25.4%
桜島・錦江湾ジオパーク(鹿児島県)	12	18.0%	7	5.8%	42	27.6%
洞爺湖有珠山ジオパーク(北海道)	6	20.2%	5	6.3%	41	28.6%

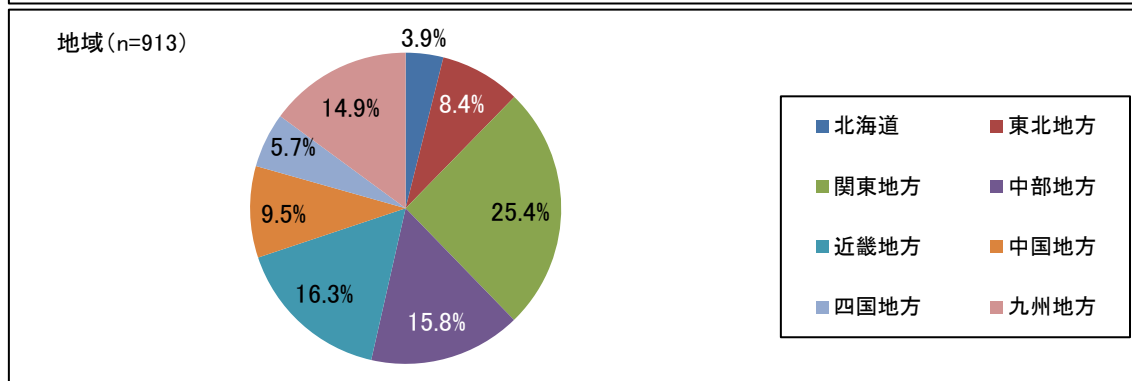
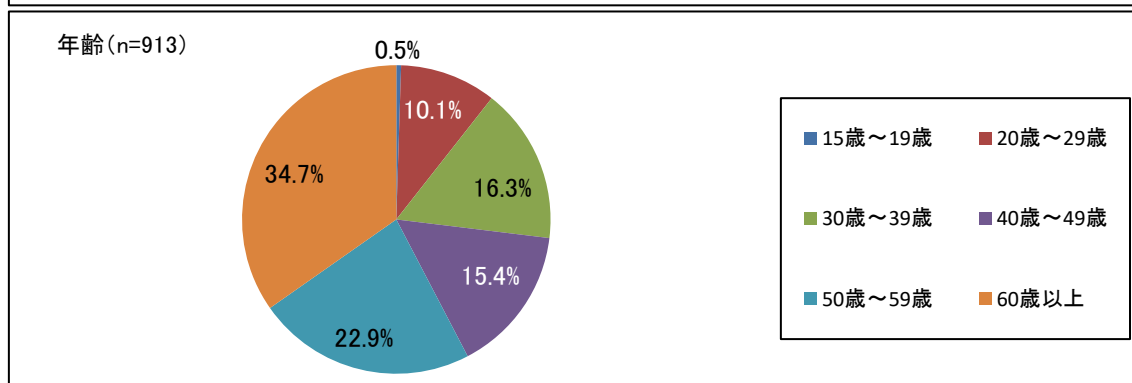
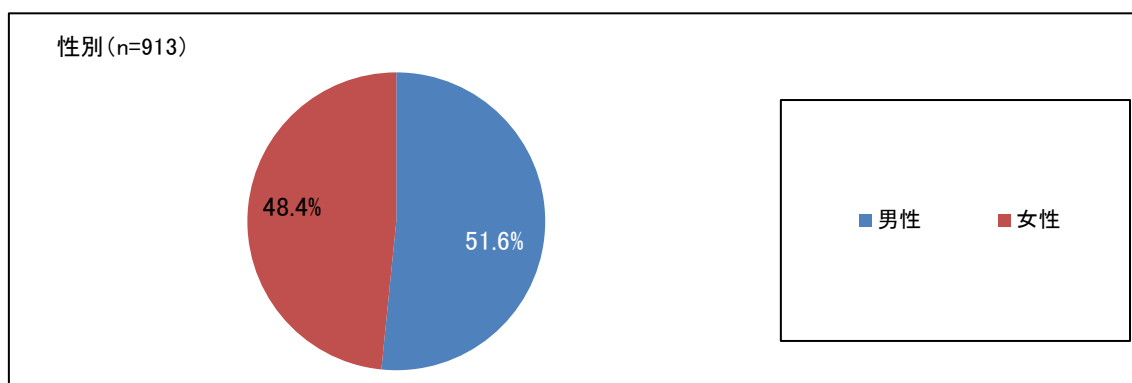
ジオパーク名	位	認知度	位	訪問度	位	不満割合
箱根ジオパーク(神奈川県)	3	22.2%	4	6.5%	40	29.2%
伊豆半島ジオパーク(静岡県)	4	22.1%	7	5.8%	39	31.0%
霧島ジオパーク(鹿児島県、宮崎県)	16	17.3%	12	4.7%	38	31.9%
島根半島・宍道湖中海ジオパーク(島根県)	24	15.7%	9	5.0%	37	32.0%
南紀熊野ジオパーク(和歌山県、奈良県)	8	19.5%	10	4.8%	35	33.3%
磐梯山ジオパーク(福島県)	19	16.2%	10	4.8%	35	33.3%
三陸ジオパーク(青森県、岩手県、宮城県)	13	17.8%	15	4.6%	34	34.8%
萩ジオパーク(山口県)	20	16.1%	12	4.7%	32	36.2%
島原半島ジオパーク(長崎県)	21	16.0%	12	4.7%	32	36.2%
南アルプスジオパーク(長野県)	10	18.7%	23	3.7%	31	37.8%
恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク(福井県)	14	17.4%	20	3.9%	30	38.5%
糸魚川ジオパーク(新潟県)	5	20.4%	17	4.4%	29	38.6%
佐渡ジオパーク(新潟県)	7	19.9%	18	4.1%	28	39.0%
浅間山北麓ジオパーク(群馬県)	26	15.4%	22	3.7%	27	40.5%
男鹿半島・大潟ジオパーク(秋田県)	27	15.3%	18	4.1%	26	41.5%
秩父ジオパーク(埼玉県)	17	16.9%	21	3.8%	25	42.1%
鳥海山・飛島ジオパーク(山形県、秋田県)	32	13.9%	32	3.2%	24	43.8%
土佐清水ジオパーク(高知県)	33	13.6%	24	3.6%	23	44.4%
室戸ジオパーク(高知県)	21	16.0%	16	4.5%	22	44.4%
十勝岳ジオパーク(北海道)	25	15.6%	25	3.5%	21	45.7%
伊豆大島ジオパーク(東京都)	9	19.1%	28	3.4%	20	47.1%
白山手取川ジオパーク(石川県)	39	11.7%	33	3.1%	19	48.4%
隠岐ジオパーク(島根県)	18	16.2%	30	3.3%	18	48.5%
銚子ジオパーク(千葉県)	28	14.6%	25	3.5%	17	48.6%
下北ジオパーク(青森県)	30	14.0%	28	3.4%	14	50.0%
八峰白神ジオパーク(秋田県)	29	14.1%	34	3.0%	14	50.0%
五島列島(下五島エリア)ジオパーク(長崎県)	23	15.8%	41	2.6%	14	50.0%
筑波山地域ジオパーク(茨城県)	30	14.0%	25	3.5%	13	51.4%
四国西予ジオパーク(愛媛県)	34	12.5%	30	3.3%	12	51.5%
おおいた豊後大野ジオパーク(大分県)	37	11.8%	35	2.9%	10	51.7%
栗駒山麓ジオパーク(宮城県)	40	11.5%	35	2.9%	10	51.7%
ゆざわジオパーク(秋田県)	38	11.7%	38	2.8%	9	53.6%
苗場山麓ジオパーク(新潟県、長野県)	36	12.4%	40	2.7%	8	55.6%
アポイ岳ジオパーク(北海道)	45	10.6%	43	2.5%	7	56.0%

ジオパーク名	位	認知度	位	訪問度	位	不満割合
とがち鹿追ジオパーク(北海道)	44	10.8%	44	2.3%	6	56.5%
三島村・鬼界カルデラジオパーク(鹿児島県)	46	10.4%	46	2.1%	4	57.1%
下仁田ジオパーク(群馬県)	35	12.5%	38	2.8%	4	57.1%
白滝ジオパーク(北海道)	41	11.1%	41	2.6%	3	57.7%
三笠ジオパーク(北海道)	42	11.0%	37	2.8%	2	60.7%
おおいた姫島ジオパーク(大分県)	43	10.9%	44	2.3%	1	60.9%

IV. 不満抽出・改善調査 2021 の概要

■ 調査名	ジオパーク不満抽出・改善調査 2021
■ 調査方法	インターネット調査
■ 実施期間	2022年02月18日～25日
■ 調査対象	認知度調査で「Q2. ジオパークの認知と訪問満足・不満」に「満足した」「不満を感じた」と回答した人 2,271人
■ 回収数	計 1,078 回答
■ 有効サンプル数	計 913 回答 ※本調査の問1で「上記にはない／訪問したことがない」を選択した回答者を排除

▽回答者属性



■回答者属性の特徴と留意点

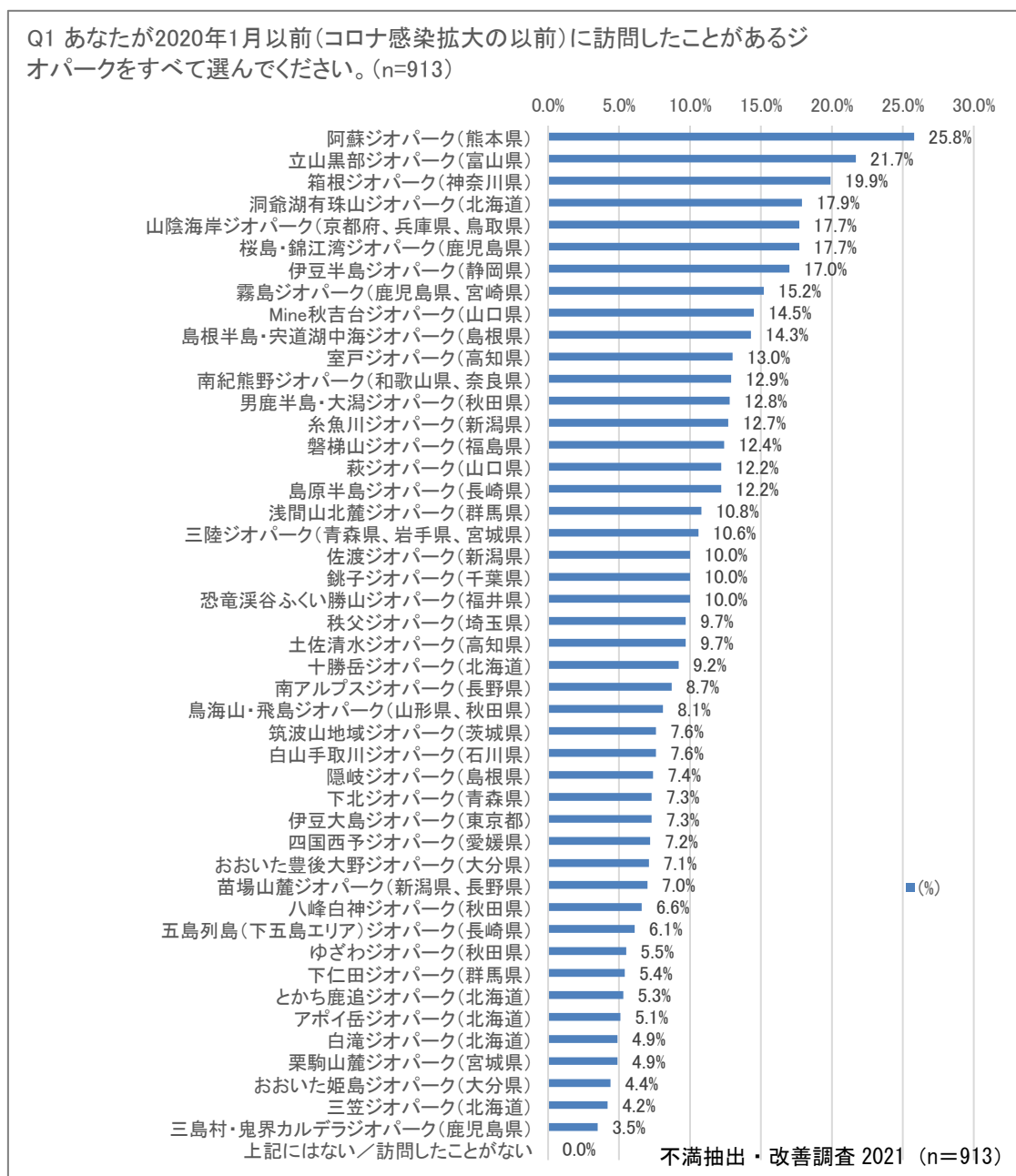
男女比は、調査時に割り付けたためほぼ同率。年齢は認知度調査と同じく、年代が高い人の回答率が多い点は留意したい。

地域別の回答数は、関東を中心に都市圏が多い。また、人口比で見ると北海道が少ない以外は、他地域は実際の地域の人口比に近い。

18～19 歳にも調査しているが、回答数が少ないため参考値としている。

V. 不満抽出・改善調査 2021 の分析(単純集計・クロス集計)

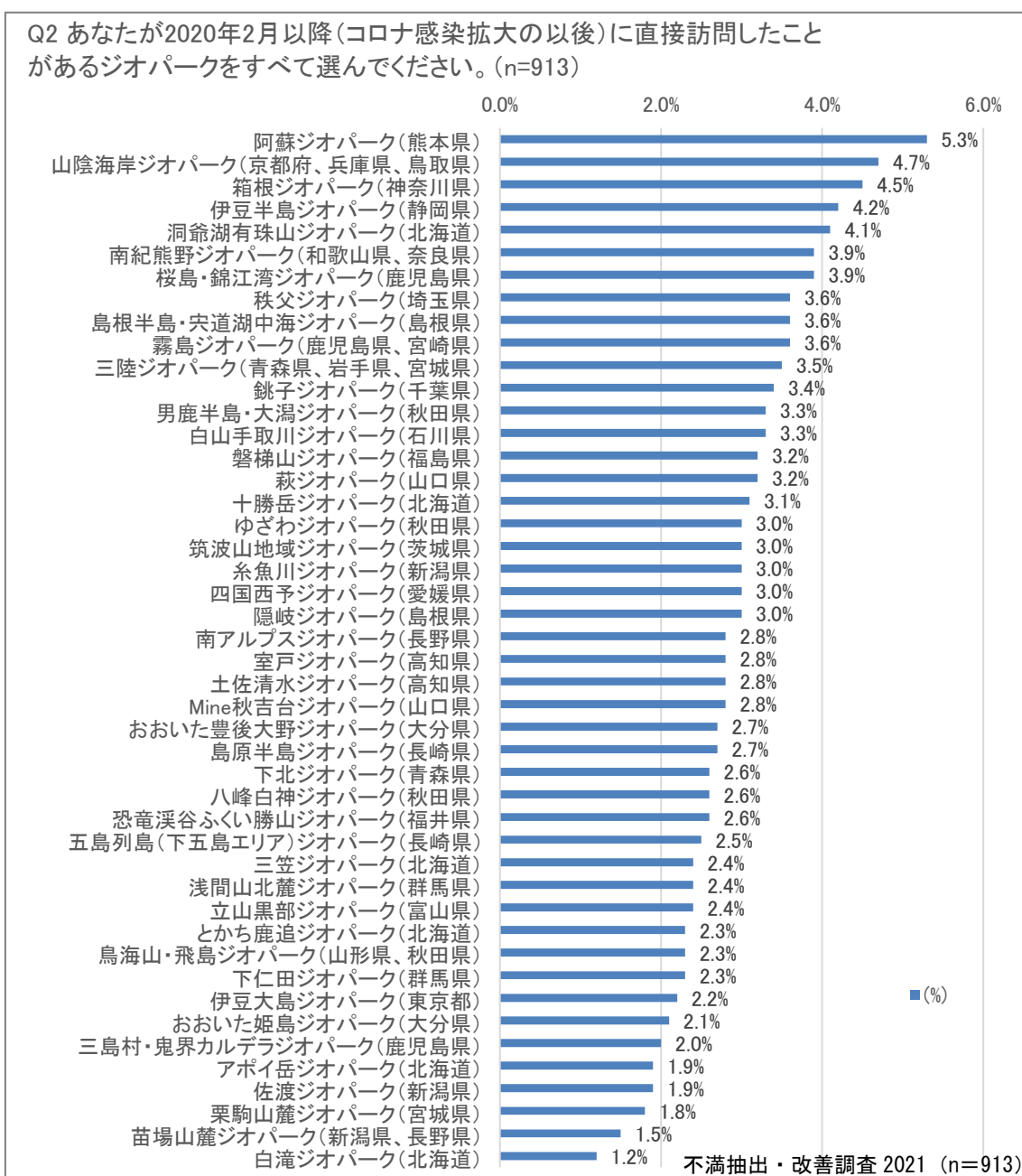
[1] コロナ禍前に訪問したことがあるジオパーク(n=913)



■回答の特徴

認知度調査の Q2 で訪問したジオパークに「満足した」「不満を感じた」を選択した回答者に対して、まずは「コロナ禍前に訪問したことがあるジオパーク」を聞いた。トップは「阿蘇ジオパーク(熊本県)」、続いて「立山黒部ジオパーク(富山県)」「箱根ジオパーク(神奈川県)」が多かった。

[2] コロナ禍後に訪問したジオパーク(n=913)



■ 回答の特徴

この設問では、2020年2月以降にコロナ禍が拡大されたあとに、直接訪問したことがあるジオパークを聞いている。コロナ前と変わらずトップは「阿蘇ジオパーク(熊本県)」だが、コロナ前は25.8%だった割合が、コロナ後は5.3%にまで減少した。

続いて2番目には「山陰海岸ジオパーク(京都府、兵庫県、鳥取県)」となり、「箱根ジオパーク(神奈川県)」「伊豆半島ジオパーク(静岡県)」と大都市圏から近場のジオパークが上位に名を連ねた一方、コロナ前に2番目だった「立山黒部ジオパーク(富山県)」は、残念ながら2.4%と下位に沈んだ。

下記では、上位10団体について地域ごとのクロス分析もしている。もちろん所在地の地域から多く来ていることに加え、所在地ではない他地域からの訪問、特に関東地方や近畿地方など大都市圏からの訪問の割合が多いジオパークが目立つ。例えば、「阿蘇ジオパーク(熊本県)」は所在地の「九州地方」から非常に多くの訪問を集めているが、その他に「関東地方」から5.2%、「近畿地方」からは4.7%の割合で訪問している。「山陰海岸ジオパーク(京都府、兵庫県、鳥取県)」は「中国地方」だけでなく「近畿地方」の割合が高い。ほかに特徴的なところで言うと、「島根半島・宍道湖中海ジオパーク(島根県)」は「中国地方」の高さに加えて、より距離の近い「近畿地方」ではなく「中部地方」からの訪問割合の高さが目立つ。こうしたジオパークごとの地域へのブランディングの成果もこの結果からは見てとれる。

さらに性年代別のクロス分析にもふれる。おおまかな傾向としては、平常時には旅行を趣味とする人が多い高年齢層の低調ぶりだろう。特に男女とも50～60歳以上の層は、働き盛りの層と比べて非常に割合が低い。コロナ禍において、重症化リスクが高いため高年齢層が外出を控えた事実と合致する。さらに男性20代からの支持が高かったのは「山陰海岸ジオパーク(京都府、兵庫県、鳥取県)」と「秩父ジオパーク(埼玉県)」だった。女性20代の人気が高かったのは「伊豆半島ジオパーク(静岡県)」、女性30代からは「三陸ジオパーク(青森県、岩手県、宮城県)」の訪問の割合が高かった。これらのジオパークは、若年層を惹き付ける魅力があると推察される。

コロナ禍は非常時であるため、これからコロナ禍が収束すれば傾向は変わっていくだろう。ただ、「不要不急」という言葉の中で、2020年2月以降に直接訪問されたジオパークは、まさに「選ばれたジオパーク」と言える。大都市圏からの距離というのは所与の条件ではあるが、例えば地域別の訪問傾向や性年代別の傾向をみていくなかで、自ジオパークの魅力がしっかり届いて行動変容を起こしているかを確認し、今後の施策を考えるヒントにしてほしい。

▽クロス分析:地域×コロナ後に訪問したジオパーク

Q2 あなたが2020年2月以降(コロナ感染拡大の以後)に直接訪問したことがあるジオパークをすべて選んでください。

		n	Q2											
			阿蘇ジオパーク(熊本県)	山陰海岸ジオパーク(京都府、兵庫県、鳥取県)	箱根ジオパーク(神奈川県)	伊豆半島ジオパーク(静岡県)	洞爺湖有珠山ジオパーク(北海道)	南紀熊野ジオパーク(和歌山県、奈良県)	桜島・錦江湾ジオパーク(鹿児島県)	秩父ジオパーク(埼玉県)	島根半島・宍道湖中海ジオパーク(島根県)	霧島ジオパーク(鹿児島県、宮崎県)	三陸ジオパーク(青森県、岩手県、宮城県)	銚子ジオパーク(千葉県)
全体		913	5.3%	4.7%	4.5%	4.2%	4.1%	3.9%	3.9%	3.6%	3.6%	3.6%	3.5%	3.4%
地域	北海道	36	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	19.4%	2.8%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	2.8%	2.8%
	東北地方	77	3.9%	1.3%	3.9%	3.9%	3.9%	1.3%	3.9%	2.6%	1.3%	1.3%	13.0%	2.6%
	関東地方	232	5.2%	3.9%	11.2%	7.8%	5.6%	4.7%	3.4%	9.5%	2.2%	3.0%	1.7%	7.8%
	中部地方	144	2.8%	2.8%	1.4%	4.2%	3.5%	3.5%	1.4%	1.4%	4.9%	2.1%	3.5%	2.8%
	近畿地方	149	4.7%	9.4%	3.4%	4.7%	2.0%	10.7%	4.7%	2.0%	2.7%	2.7%	2.7%	2.0%
	中国地方	87	1.1%	10.3%	0.0%	1.1%	2.3%	0.0%	1.1%	1.1%	11.5%	0.0%	3.4%	1.1%
	四国地方	52	1.9%	1.9%	0.0%	0.0%	1.9%	1.9%	1.9%	3.8%	3.8%	3.8%	0.0%	0.0%
	九州地方	136	14.7%	2.9%	3.7%	2.2%	2.2%	0.7%	10.3%	0.7%	2.2%	11.8%	3.7%	1.5%

※上位10団体のみ抽出。そのため、割合は足し合わせても100%にならない。

▽クロス分析:性年代×コロナ後に訪問したジオパーク

Q2 あなたが2020年2月以降(コロナ感染拡大の以後)に直接訪問したことがあるジオパークをすべて選んでください。

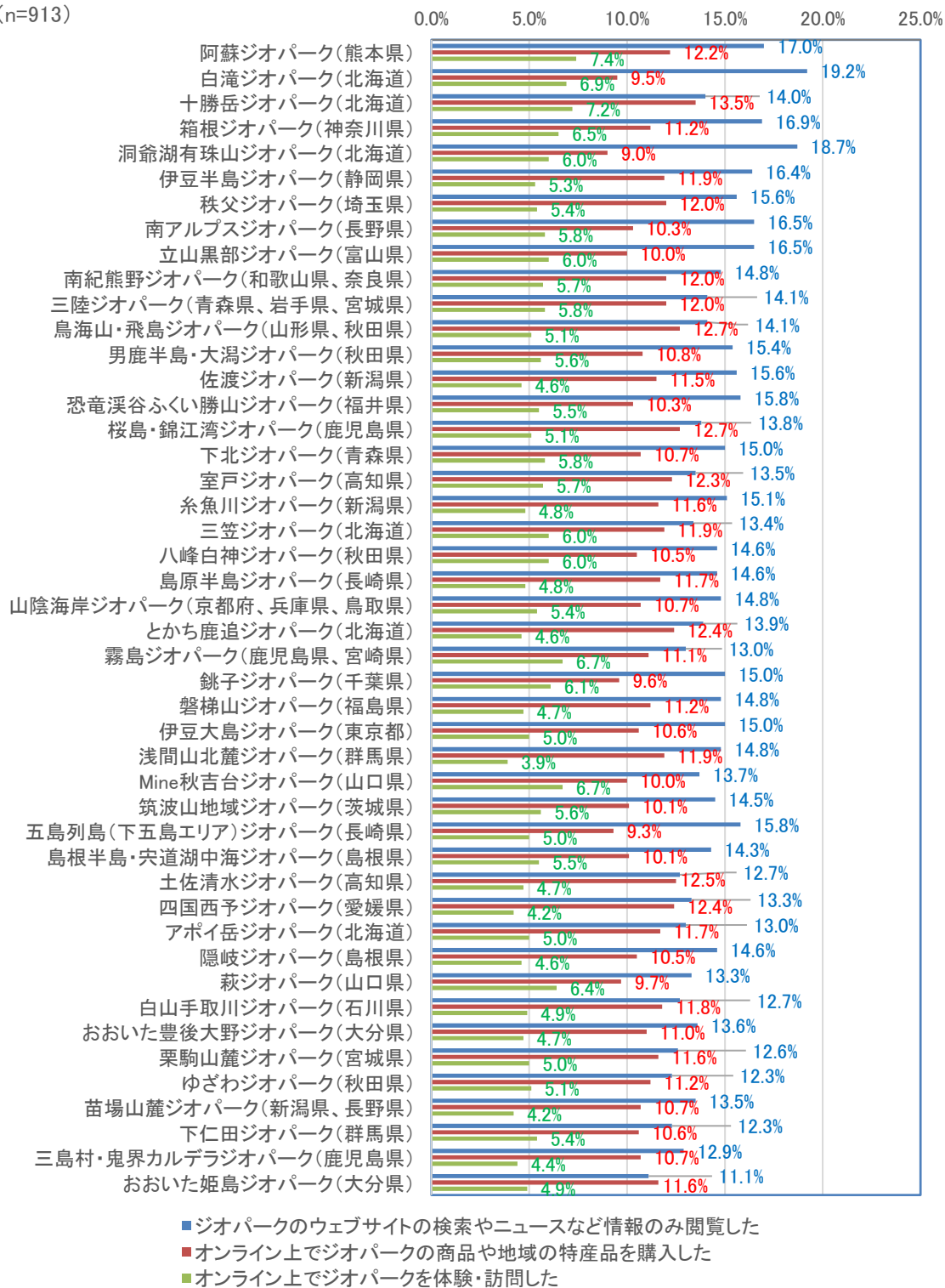
		n	Q2											
			阿蘇ジオパーク(熊本県)	山陰海岸ジオパーク(京都府、兵庫県、鳥取県)	箱根ジオパーク(神奈川県)	伊豆半島ジオパーク(静岡県)	洞爺湖有珠山ジオパーク(北海道)	南紀熊野ジオパーク(和歌山県、奈良県)	桜島・錦江湾ジオパーク(鹿児島県)	秩父ジオパーク(埼玉県)	島根半島・宍道湖中海ジオパーク(島根県)	霧島ジオパーク(鹿児島県、宮崎県)	三陸ジオパーク(青森県、岩手県、宮城県)	銚子ジオパーク(千葉県)
全体		913	5.3%	4.7%	4.5%	4.2%	4.1%	3.9%	3.9%	3.6%	3.6%	3.6%	3.5%	3.4%
性年代別 10	男 15-19 歳	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	男 20-29 歳	24	0.0%	20.8%	4.2%	8.3%	4.2%	4.2%	0.0%	16.7%	4.2%	8.3%	4.2%	8.3%
	男 30-39 歳	42	2.4%	2.4%	9.5%	4.8%	4.8%	2.4%	4.8%	4.8%	2.4%	7.1%	2.4%	7.1%
	男 40-49 歳	60	3.3%	3.3%	3.3%	1.7%	3.3%	3.3%	3.3%	6.7%	3.3%	8.3%	6.7%	6.7%
	男 50-59 歳	117	6.8%	5.1%	5.1%	0.9%	4.3%	6.0%	2.6%	4.3%	2.6%	3.4%	2.6%	1.7%
	男 60 歳以上	228	2.6%	3.1%	2.6%	0.9%	3.5%	2.6%	1.8%	0.9%	3.9%	1.3%	1.8%	0.4%
	女 15-19 歳	5	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	女 20-29 歳	68	8.8%	5.9%	2.9%	13.2%	7.4%	8.8%	7.4%	5.9%	7.4%	4.4%	0.0%	7.4%
	女 30-39 歳	107	8.4%	7.5%	6.5%	9.3%	9.3%	4.7%	8.4%	4.7%	5.6%	6.5%	12.1%	7.5%
	女 40-49 歳	81	8.6%	4.9%	7.4%	4.9%	1.2%	7.4%	7.4%	6.2%	6.2%	3.7%	4.9%	2.5%
女 50-59 歳	92	5.4%	4.3%	4.3%	3.3%	2.2%	2.2%	3.3%	1.1%	1.1%	2.2%	0.0%	3.3%	
女 60 歳以上	89	3.4%	2.2%	3.4%	4.5%	1.1%	0.0%	2.2%	1.1%	0.0%	1.1%	2.2%	1.1%	

※上位 10 項目のみを表示している。男女 10 代は回答数が少なく参考値としている。

[3] コロナ後にオンラインでつながりを持ったジオパーク(n=913)

Q3 あなたが2020年2月以降(コロナ感染拡大の以後)に、それぞれのジオパークとオンライン上でつながりをつかった方法に当てはまるものをすべて選んでください。

(n=913)



■回答の特徴

前問では「直接訪問したジオパーク」を聞いたが、本問では、「オンライン上でつながりをつくったジオパーク」、および「その方法に当てはまるもの」を答えてもらっている。

なお、選択肢には「あてはまるものはない」があり、いずれのジオパークでも約7~8割と最多であるため、分析上、グラフからは外している。また、グラフの順番は、選択肢3つを足し合わせた値が高いものでソートし、上からオンライン接触の度合いが高いものが並んでいる。

「ウェブサイトの検索やニュースなどの情報のみ閲覧」とした回答の割合は、多少はあるが大きな傾向の違いはなく11~19%におさまっている。「商品や地域の特産品の購入」も大きな傾向の違いは見出しづらいが、「十勝岳ジオパーク(北海道)」の割合が他ジオパークよりもやや高かった。

「阿蘇ジオパーク(熊本県)」は「オンラインで体験・訪問した」が最多だった。ただ、もう1つ留意点として付け加えると、実際に各ジオパークが「特産品の販売」や「オンライン観光」などのサービスを実施しているかは不明である。回答者が「そう感じた」回答をそのまま掲載していることをご了承いただきたい。

[4] 訪問したジオパークにあまり満足できなかった理由(n=811)

Q5 時期に限らず、これまであなたが訪問したことがあるジオパークについて、「あまり満足できなかった理由」(訪問に際して期待と違った部分やジオパーク側の工夫がほしい点など)があれば自由にお書きください。(n=811)

■回答の特徴

Q5 では「訪問したジオパークにあまり満足できなかった理由」を聞いているが、811 回答中、有益な 220 回答のみを以下に自由回答表として整理している。

それを見ると、おおむね回答が多かったのは「ジオパークの意味合いがわからない、なぜジオパークなのか」という点、「見るべきポイントがわからない、ジオパークとしての魅力が発信されていない」といった情報発信の課題、「交通の便が悪い、施設が古い、トイレが汚い、足場が悪い、ルート上に看板たてでの説明で十分、レストラン等の食事が出来る所が殆どなかった」などアクセスや施設面の課題があげられている。

訪問したことがあるジオパークについて一般論が語られているが、一部、個別の名称も出ている。自ジオパークで同じ課題がないか、確認や検討をしてほしい。

▽Q5 「もっとも不満や改善の必要を感じたジオパーク」自由回答表

No.	回答
6	ジオの規模が小さいパークがある。
7	どこが見るべきポイントになるのかがよく分からなかった。
15	混んでいて、見られなかった。
16	ジオパークという意味がほとんど知られていない。書いてあるからそうなんだと思うだけ。このリストにあっても疑問符の付くところはある。あまりに観光地化している場合のように。
17	ジオパークでない場所とあまり変わらない景色だった時。
19	見てもわからない
27	楽しみが増えるイベントがほしい(執筆者注:欲しい)
30	ジオパークとしての魅力が発信されていないと思う。
34	驚きがなかった
35	規模が大きすぎてただの風景に見える
38	本当は2泊する予定だったのに、台風のせいで1泊に変更した。仕方がないが、自然との付き合いは難しい。

39	先達がいなければ見過ごす事のある場所が多い。
44	整備
46	その理由を聞き変更を加えたら、それはジオパークではない。
47	面白くはない
52	どう言う順番で回れば効率的かわかるようなマップがあればよかった
58	ジオパークに行くまでの交通手段が少ない
61	きれいでなかった
62	足場が悪い
72	他に楽しむものが周りに無い
116	トイレがいまいち
129	単調な感じがした
131	案内等、分かりにくい
136	昔のことなのでよく覚えていない。
137	ジオパークの特殊性がわからない。名前だけつけている
138	レストラン等の食事が出る所が殆どなかった。
142	思い描いていたイメージとかけ離れていたため
144	糸魚川：ジオパークらしいところが極めて貧弱
145	特段の特徴を感じられなかった
150	交通アクセスがあまり良くなかったり、道路標識が不親切なケースがあった。
153	特色がなにか情報が少ない
156	ジオパークの意味が分からずして訪問したため
160	ジオパークの存在はPR されていても、その中でどのようなものが見られて、どうアクセスすればいいか等、詳しい情報が集めづらい。サイトでも、駅など現地周辺でも、情報提供を工夫してほしい。
165	交通アクセスが悪い
167	いつも見慣れたロケーションだから
168	いまいち興味がない。
174	足場が悪いので遊歩道の整備が必要
175	天気が悪い日に訪問したので、改めていい時に行きたい
176	面白いイメージが良い
187	ジオパークである旨の説明が現地に不足していると感じた。
189	コンビニエンスストアがほしい
194	子どもが喜ぶようなアトラクションなどがない
198	リラックスはできたが楽しいと思っただけでなかった

199	トイレの石鹸がないことがある。
207	スタッフが少なかった。
211	値段が高い
212	設備が古く交通の便も悪かったため十分にエンジェイできる余裕がなかった
213	遠い
216	アトラクションがなかった
217	たいした物ではなかった。
219	特にない。(訪問前にあまり期待しないようにしてる。イメージ先行をさけたい)
225	時間帯によるかと思いますが、落ち着き感がない。
230	あまり遊べる場所が少なかった
235	楽しめるアトラクションなどがあまり無かった
236	ジオパークとしてのアピールが不足気味であり、当該場所を訪れていても「そこがジオパークだと」気が付かないことがあったと思います。
248	汚い
270	お土産品売り場の規模が小さく品数も少ないので、「道の駅」と合体して大きくして貰いたい。
276	食事をするところや看板などの整備
278	鹿児島では、キャッシュレスが進んでおらず、旅行に不便を強いられた。
279	交通アクセスが悪い
280	一箇所しか知らないなので、特にない
281	桜島に住んでいますが、ジオパークとして誇れないです。ひどいです。
284	どこも同じようなものですが、現地の解説などをしてくれる案内が無く、それがあった方が良い気がします。ほとんどのパークが、日曜設定になっていて、平日は係員が少ないのでわからない。
285	道が整備していない
287	もうちょっと分かりやすく展示してほしい
290	食堂のメニューが貧弱で品数が少ない
291	感動がない
293	ピンと来なかった
301	中国人の団体
302	これがジオパークかとはっきりすることがあったり、後でここがジオパークだったんだと気付くこともあり残念。
303	施設が古い
304	交通の便

305	客層
306	特徴がない
307	観光地化しすぎている観光地化しすぎている
314	予想と違った
317	ジオパークという表示がわかりにくい 案内板が少ない
321	つまらない
322	もう少し、丁寧な説明があれば良いと思う…！！
325	洞爺湖のジオパークは、感動するものが特になかった。
329	地元からのパンフレットや連絡が欲しい。
331	ジオパーク内は比較的なだらかな道できちんと整備されている印象があったが、しかし場所によっては舗装され切っていない道や坂道の勾配があるところは長い階段があったりして、往路はまだ良くても復路ではまた同じ道を辿って帰らないといけないので、例えば階段だった場合は急いでいたりする場合でも陰しく細い階段を息を相当切らして登らなくてはならなかったりが多かったので少し大変だと思った
336	訪問経験のある場所は、ジオパークとして指定される以前の訪問であるので、ジオパークとしての観点からは何とも言えないが、期待と違ったことはない。
349	自然がきれいでした、お土産店が少なかったと思います。
357	ポイントを絞ったアピールがほしかった
362	もうちょっとジオパークとしてのアピールが欲しかった
364	それぞれの企画に基づき展示しているので、満足出来なかった事はない。
366	特にないが公共交通機関では不便なところが多く途中まではどうしてもマイカーになってしまう。
375	トイレが綺麗じゃないところがあった
384	どこから見学してよいかわからなかった
385	あまり使わなそうな建物作るよりルート上に看板たてての説明で十分だと思う。看板の文字が薄くなってたら直してほしい。
386	案内板が壊れている
390	とても暑い時期で目的とするところが駐車場から遠く、登り下りが多かった。
399	行政があまり力を入れていないと感じる
405	言うほど魅力は無い
407	事前情報が少ない
413	古くさい
428	それ自体より県の自然などの魅力があるので満足できなかった訳ではなくトータルで見た方が良いと思うので。

430	写真の方がきれい
451	駐車場探しが大変だった
452	説明案内が少なかったと思いました。
453	悪い形で昭和臭が残っていた。トイレなどの施設が新しくない。
454	満足できたので特になし
463	展示品が少なく
465	他に行きたいところがあったから
469	災害に遭って、今も通行止めになっている
470	遠い
482	活気がない
490	もう少し整備してください
506	学術的な展示が多い
512	私自信が地球の歴史である地層にそれ程興味を持っていないために見過ごしがちになって おります。故に、特にしてもらいたいことはありません。
522	範囲が広くて、実感が薄い。
524	どこも自然を満喫できて、満足でした
525	トイレや販売部分が少なかった。
530	余りにも専門的すぎて、何度も行きたいとは思わない。係員からの説明がなくても分かり やすい、掲示板の工夫をお願いしたい。
533	アピールポイント少ない
536	情報がよくわからない
543	自然の成り立ちや歴史の説明が薄くて訪問した意味がない所が多い。
545	あまり独自性を感じることはなかった。
551	自然の景色が期待ほどではなかった。
552	場所が広すぎるところは、何を見れば良いか分かりづらかった
563	何時も何となく訪問していたので
570	説明してくれる人なり工夫がないのでなんとなく立ち寄る程度しかできなかった。
571	ツアーがあればうれしい
574	特に何もしなくて良いのではないかな。そのまま見た方が良い。
580	自宅からフェリーで行ったので 時間がかかった
587	派手さがなく地味 かわいいゆるキャラなどでアピールしてみてもいいかも
593	交通の便が悪かった。
601	はじめての訪問で基準がわからなかった
604	キャンペーンが白々しいだけ

605	自然しかなかった。
607	ごみが多かった
609	何の変哲もなく工夫がないので、いつ行っても同じである
616	個性がない
617	各地域に、ざっと実滞在何日あれば、各地域の魅力、神髄に触れることができるのか、最初に知りたいのだけれど、実際に行ってみないと、それが実感できず、「残念、じゃあ残りは次の機会に・・・」となる。これは、再訪問の機会をつくるものとも言えるが、実際、これだけジオパークが増えると、人生の限られた時間内で、満足のいくジオパーク訪問の機会がそうそうあるものものでもないで、結局、食い足らずの状態が終わってしまう可能性大。
618	交通の利便性
632	ガイダンスが不十分、近場の飲食店や宿泊施設が古い
642	たかい
644	従来の国立公園、国定公園の区分の中での新しいアイデアの導入で十分だと思う。古い考えかもしれないが、今まで以上に駐車場や売店を整備するのはいかがなものか。
646	拠点（駅とか空港とか道の駅）からの詳しくて分かりやすいルート表示が欲しい。レンタカーで訪問するときもナビは使わないでワクワク感を楽しむ。
651	混雑していてゆっくりできないのが不満。
653	観光ポイントがわかりにくい
659	金額がたかい
660	充実したラインナップではないように感じたことと
662	特徴のある地形や地層などにアクセスしがたいもの。
663	遠い
678	景色はいいがお土産物や食事をするところがあまりなく近くにコンビニもないため苦労した。
679	内容は問題ないが我が県には無いので遠すぎる
680	アクティビティが期待したよりも少ないところ。
683	早く帰りたくなった
691	楽しめるものがなかった
700	見どころがよくわからないところがあった。行けば詳しい説明が書かれているのかと思った。ガイドが必要だと思った
701	展示物が物足りなかった
702	北海道の場合、冬季間はどうしても立ち入りできない場所が多い
703	事前には、さほど詳しく調べなかったもので、がっかりしたことはない。

707	現地とイメージが異なるジオパークが幾つかありました。
710	共通したフォーラムの案内説明のパンフなどがなかったこと。
717	詳しい説明が書いてあるような施設がほしかった
718	ジオパークということを特別に意識していないので、満足できなかったということはない。
727	ガイドの殻の説明が下手
734	面白くなかったから。
749	立山について歩行で見る楽しさがない。登山しか楽しめない。
755	ジオパークができた背景とかを全く知らなかった
758	パツとしなかった
766	わかりにくい
769	現在はwebで情報収集が容易になったが、現地では情報不足でそこがジオパークであることすらわからないところもある。
770	全体を俯瞰出来ない
774	特にない。その程度のものだ
775	ジオパーク自体があまり知られていないので、積極的に接する機会がない。
777	自然と変わらない
780	古い時代の説明が弱い
781	まだ整備が整っていないところがある様だ。標識等の不備の情報がります。
785	日常見ているため慣れ
791	人工的な感じがする
798	面白味がない
805	駐車料金が高い。混んでる。

[5] ジオパークに導入すべきアイデア (n=811)

Q6 前問の「あまり満足できなかった部分」やそれ以外にも、他の旅先や海外・国内の民間企業・団体で導入されているサービスで、ジオパークに導入すべきもの・アイデアがあれば自由にお書きください。(n=814)

■回答の特徴

Q6 では「ジオパークに導入すべきアイデア」を聞いているが、814 回答中、有効な 193 回答のみ以下に自由回答表に記載した。

前問ではいくつか課題が整理されたが、主に本問では①情報発信、②利便性の向上、③コンテンツ、④インフラ・施設面での提案が挙げられた。一部、特徴的な回答を引用する。なお、すでにジオカードの配布はなされているが、アイデアの1つとして記載している。

①情報発信

- ・ メールで季節ごとに案内して欲しい
- ・ 貸し出し用のタブレットで説明や比較ができればいい
- ・ 訪問者の、嗜好や知識レベルなどを分類する段階を(AIなども応用)経て、あなたに合うのは、このジオパークにこういう形で滞在して、どことどこを訪問して、ガイドいればそのことも紹介して、総合して、何日かかる、宿はどこそこ、食事はこれこれ、と需要の各部門に対して、情報を出してくれるサイト構築

②利便性の向上

- ・ 時間の予約制で混雑緩和
- ・ コロナ禍で簡単にオンラインで訪問
- ・ ガイドの申し込みをオンラインで

③コンテンツ

- ・ 体験型のアクション／体験ツアーを増やして欲しい
- ・ ポイント制度／全部制覇するのが、目標楽しみ
- ・ ヨットクルージング
- ・ ドローンでの撮影／空から見るジオパーク
- ・ できれば専属の『武将隊』や『ご当地キュラクター(原文ママ)』等による出し物
- ・ ジオカードの配布／そこでしか手に入らないような物が有れば(例えば紹介カード等)集めて楽しめる
- ・ VR アプリなんか使ったら面白そう

④インフラ・施設面

- ・ 旅行サイトや宿泊予約サイトとタイアップして、ジオパークを訪れるための『公共交通機関や主な鉄道駅からの所要時間など』の情報が簡単に入手できるサービス
- ・ 地方自治体と民間団体やNPOとの連携をもっと強くし、迅速にかつ有効な整備
- ・ 1週間程度の安価な滞在型の宿泊サービス

▽Q6「ジオパークに導入すべきアイデア」自由回答表

No.	回答
7	ホテルの観光パンフレットコーナーに、近隣のジオパークのパンフレットを置く。パンフレットには全てのジオパークの情報を載せる。
10	もっと目立つように広告すべき。どのように楽しめるのかを旅行の行程に組み込んで周れるようにプランを具体的に提示すべき。
14	ガイドの申し込みをオンラインでできるといい
16	まずはこの意味についてしっかり広報しないとダメだと思う。観光地化が過ぎると、価値は下がるのではないか。また外国人がたくさん入ってくるのも好ましくないのがホンネだ。今のようコロナだと外国人がいないのはよいことだ。
19	時間をイメージできること
30	各地の祭りやイベントについても積極的にアピールすべき。
32	貸し出し用のタブレットで説明や比較ができればいいかも
38	ネット予約する際にでしかかけられない、天候によるキャンセル料を補える低額掛け捨て保険
39	単なる説明板のみでなく、一度スクリーンやジオラマ等での目視できる設備があれば…。
44	整備
46	自然をありのままに。
49	体験型のアクションを増やして欲しい。
52	QRコードによる紹介説明
53	楽しめるアクティビティが必要
61	みんなで拾う
62	ヨットクルージング
71	その他の楽しむことが有ればいい
74	vr 体験
114	おいしいたべものがほしい
130	景観の保護

132	案内版など、もっと分かりやすくしてほしい
137	ジオパークには行ってみたいが、コロナ禍ではどうすることもできません。
138	直接目で見て体感できる施設
151	地方自治体と民間団体やNPOとの連携をもっと強くし、迅速にかつ有効な整備をした方がよい。
169	案内図
176	その土地の美味しいものを食べつつ地学を楽しめるような施設が必要
189	ジオパークを説明しながら観光できるツアー。
191	トイレ
196	子どもが体験出来るサービス
199	動物と触れ合えたらいいのに
203	環境が守られるのが一番大切だと思う
204	体の不自由な方に対する配慮 バリアフリーなど
205	利用しやすい(費用・時間・申込み方法など)ガイド、ガイドなしでも楽しめるセルフガイドの設備や資料
211	コロナ禍で簡単にオンラインで訪問できる事
214	周辺に宿泊施設があるとよい
217	ドローンでの撮影なんかしてみたい
218	他にないものがある物がある
225	歴史的背景の紹介
226	地域ならではの特産品を過剰梱包しない分を安く買いたい。
231	もっと地域の物を購入できる売店を充実させてほしい
236	アトラクション、そこでしか体験できないイベント
237	旅行サイトや宿泊予約サイト(じゃらんネットや楽天トラベルなど)とタイアップして、ジオパークを訪れるための「公共交通機関や主な鉄道駅からの所要時間など」の情報が簡単に入手できるサービスがあれば嬉しいです。
268	清掃活動
270	できれば専属の「武将隊」や「ご当地キャラクター」等による出し物があると嬉しい。
275	大久野島のようなウサギの放し飼いやたこのフライなどのおいしいもの
279	住民たちの意識向上。これに尽きます。
285	案内や説明する人
286	入退場の際の靴裏の消毒、木道の整備、トイレ施設の整備
288	その地元ならではの特産品をリーズナブルな価格で提供して欲しい
298	現状で良い

300	これがジオパークだということを都道府県を挙げてピーアールするべきだと思う
301	ホテル
303	生真面目過ぎてつまらない
315	あまりにも乱立しているので、当初抱いていた希少性の部分でのありがたみを感じられなくなりました。初心に帰るという考えも少し必要だと思います。商業主義の匂いが強すぎると感じています。
316	鉄印や城印のような共通の訪問記録になるようなもの
319	行こうとは思っているのですが、なかなか難しい気がします。先ほども回答しましたが、丁寧な説明があれば良いと思うが…？
326	メールで季節ごとに案内して欲しい。
328	見学できる範囲が割と多岐に渡り広い場所が多いので、人にもよるだろうがゆっくり座って息をついて飲み物でも飲んで休めたり寛げたりする無料の気軽な場所がもう少しあればいいように思った。そして足場の悪いところや細い石の階段などには楽に登ったり降りたりするためのしっかりした手すりがあればいいと思った。
330	とにかく、コロナ禍で出かけることができなかった。
346	自然が満喫出来てゆっくりと散策コースを回り心身ともにリフレッシュ休暇を取れました。
354	ここが時間を無駄にせず回れるなどの紹介
359	そこがジオパークだという情報発信が欲しい
361	事前に知識を学んでも、展示内容は素晴らしい物ばかりと思われる。
374	コロナ禍において、実際訪問できるところが少なくなったので、バーチャルに力を入れているジオパークには好感が持てた。今後も継続を望みたい。
380	音声つきガイド
382	ポイント制度
386	目的とするところの駐車場とか、回りの環境をよくして欲しい。
395	整備がなされていない地域が多く失望するところが多く感じる
396	自然を壊さないでほしい。看板などが見えらうんざりする。
397	学問的な意義を解説した資料が入手できたら嬉しい
401	宣伝
403	定期的に情報提供を希望
413	自然を満喫するのが目的なので、個々人のやり方で行えば良いと思います。
414	そこでしか手に入らないような物が有れば(例えば紹介カード等)集めて楽しめるのでは思いません。既にあるのかもしれませんが。
426	立体的に写真でしか見れないので仕方ない

440	動植物の展示がもっとあれば良いと思う。
448	駐車場の明確化
449	空から見るジオパーク
450	古いものは残す。新しくする物は新しくする。
451	もっと分かりやすく読みたくなるような看板が欲しい
460	体験型など多いと嬉しい
462	地場産の材料で作ったギャラリーとかが欲しい
465	アトラクションとかあったら楽しそう
493	ジオカードの配布
502	小学生にも楽しめるように。
515	説明案内のサービス
522	通販で買えるものを増やす。
525	巡回バス
534	体験
536	糸魚川に関しては PR が不足していると感じる。
537	体験型をふやす
541	体験が出来ないと何も残らない、体験にお金を使って存続してほしい。
542	見るだけでなく体験できるイベントがあるといい。宿泊も地元の人との繋がりが持てる民泊のようなものがあるといい。
543	民宿とか地元資本とのタイアップ。
558	ジオパークという呼び方、従来の名所と何か変わっているのか？などジオパークというものが良く分からないので、こちら辺を広めるといいのではないのでしょうか？今回のアンケートでも、従来からある観光地を「ジオパーク」と呼び方が変わっただけと理解し返答しましたが、従来の観光地とは別にジオパークという施設があるのであれば、今までとの違いなども知りたいです。既にサイトなどに情報ありましたらすみません。
566	そもそもジオパークを目的で、出掛ける人がいるのかどうか、疑問である。
568	プロジェクターマッピングなど技術を活用したり3D 体験できたりイベントがあれば楽しい
577	ジオパークの数が多すぎて特別感が薄い。
578	満足感の高い個人ツアープラン
585	飲食店や宿にパンフレットなど置く
587	割引
590	訪れたジオパークの近場のジオパーク情報など繋がりが必要
594	各名所に Google マップなどで誘導できるようなアシストを作っておくと嬉しいかも。

597	その道の駅、海の駅などとのコラボレーション
599	説明や展示もの。ジオパーク内でのイベント。
603	高級宿
605	ごみ拾いイベント
610	体験ツアーを増やしていただきたい
615	まず、訪問者の、嗜好や知識レベルなどを分類する段階を(AIなども応用)経て、あなたに合うのは、このジオパークにこういう形で滞在して、どこどこを訪問して、ガイドいればそのことも紹介して、総合して、何日かかる、宿はどこそこ、食事はこれこれ、と需要の各部門に対して、 情報を出してくれるサイト構築
630	ジオパークの知識を学べる施設の充実化
650	時間の予約制で混雑緩和。
652	ジオパークということのアピールが足りない
663	コロナで楽しめない
679	ジオパーク自体には満足したのですがその他観光地らしくもう少しお店が増えればいい。
681	幅広い世代の人たちが楽しめるアクティビティやイベント。
684	長居できる環境を作って欲しい
690	海外の方用に英語のパンフレットもあるといいですね。
692	VR アプリなんか使ったら面白そう
698	1週間程度の安価な滞在型の宿泊サービス
702	観光案内所でパンフレット配布など
703	地域の観光案内
704	管理センターで入場料を徴収し、維持・管理に役立てたらよいと思う
709	立体音響が聞けるといいですね。
712	ジオパークの意義、それを体感、体験する意義の説明。ただ守るだけで良いのか。国民や市民レベルではなく、地球人としてどのように認識をすべきか、あるいは悟るべきか、まで、語る必要があるのではないか。人間同士が、殺し合い、格差を付け、差別し合い、さらには、人類の生存にも欠かせない環破壊まで行ってしまう現在の現在、地球人として、パラダイムシフトさせる、一つの提言をジオパークを通して、主張できないのか。観光業の手助け、経済を回す一つの材料とするだけでは、全く不十分。せっかくのジオパークがもったいない！と思います。
714	ブルーボックスのような単行本で最新の情報を出してほしい。
716	全部制覇するのが、目標楽しみなのでありません
720	ジオパークであることを、現地で分かりやすく知ることのできる「看板」「案内」などを多数設置してはどうか。また、地域の店舗でも、観光客などへ周知・宣伝する掲出物、案内などの活動が必要ではないか。

731	専門家も欲しい
735	自然のままがいい
744	気軽に行けること
747	山陰とかアクセスが悪く、とくに冬は雪があるし、大阪で、近いのになかなか行けないのが残念。
753	石川県の能登島には楽しめるものが多い。
757	予算の絡みもあることでしょうか、社会科見学の一環みたいで堅苦しい案内に終わるから、リピーターにはならない
760	見どころや特徴をまとめた冊子がほしいです。物理的に手元にあったほうが参照しやすいので
781	食事が貧相
784	やはり、時代考証を十分にした上で、説明をもっと増やしてほしい
785	ツアーをもっと積極的に組んで欲しい。もちろんコロナ後に。
795	あまり趣向を凝らさず自然なままが良い
804	説明がほしい

VI. 考察

ここまで、住民や訪問者のジオパークの認知度やコロナ前後の訪問の状況、さらに満足できていない部分や改善に向けたアイデアについての調査結果を紹介した。

まず、認知度調査の Q1 ジオパーク自体の認知度は 2.9 ポイント増の 56.9%だった。毎年の指摘だが、地道な活動がジオパーク自体の認知や地域成果につながってはいるが、ここ最近では横ばいで、6割に届かない。

さらに認知拡大につなげるために、年代別の結果から、男性 10~30 代、女性 10~40 代の層へのさらなるアプローチ、さらに地域別では都市圏が集中する関東地方、近畿地方はやや認知度が低いため、余地が大きい地域への対策も必要であろう。

さらに、Q2 では具体的に 46 か所のジオパークの認知度と、訪問したジオパークの満足・不満も聞いている。各ジオパークの認知度は、「阿蘇ジオパーク(熊本県)」が 27.1%と最も多く、「立山黒部ジオパーク(富山県)」が 23.7%、「箱根ジオパーク(神奈川県)」「伊豆半島ジオパーク(静岡県)」「糸魚川ジオパーク(新潟県)」となった。

「訪問度」については、「阿蘇ジオパーク(熊本県)」が 8.4%と認知度に続いてトップ。続いて「立山黒部ジオパーク(富山県)」が 7.0%、続いて「Mine 秋吉台ジオパーク(山口県)」が 6.6%と健闘している。さらに「不満割合」についても表で示している。おおむね「訪問度」が高いジオパークが上位にきているが、一部ジオパークは認知度や訪問度があまり高くなくても、不満割合が低いところもあり、訪問者に満足してもらうことに成功していると言える。ぜひ上記のジオパークの取り組みを参考にしてほしい。

次に、認知度調査で訪問したうえで「満足を得た」「不満を持った」と回答した人に対して不満の理由を抽出し、改善することを目的とした「不満抽出・改善調査」についてふれていく。

不満抽出・改善調査では、不満を抽出する前に、コロナ禍の前後で訪問したことがあるジオパークを聞いている。「コロナ禍後に訪問したジオパーク」の 1 位は他設問と変わらず「阿蘇ジオパーク(熊本県)」がトップだが、コロナ前は 25.8%だった割合が、コロナ後は 5.3%にまで減少するなどコロナ禍の影響の大きさを垣間見ることができる。

続いて 2 番目には「山陰海岸ジオパーク(京都府、兵庫県、鳥取県)」、「箱根ジオパーク(神奈川県)」「伊豆半島ジオパーク(静岡県)」などの大都市圏から近いジオパークが上位に名を連ねた一方、コロナ前は 2 番目に多かった「立山黒部ジオパーク(富山県)」は、残念ながら 2.4%と下位に沈んでいる。

当然、所在地からは多く訪問が実現していることに加え、他地域からの訪問、特に関東地方や近畿地方など大都市圏からの訪問の割合が多い上位陣のジオパークの傾向が明らかになっている。例えば、「阿蘇ジオパーク(熊本県)」はもちろん「九州地方」は非常に多くの訪問が見られる

が、その他に「関東地方」から 5.2%、「近畿地方」からは 4.7%が訪問している。「山陰海岸ジオパーク(京都府、兵庫県、鳥取県)」は「中国地方」だけでなく「近畿地方」は割合が高い。ほかに特徴的なところで言うと、「島根半島・宍道湖中海ジオパーク(島根県)」は「中国地方」の高さに加えて、より距離の近い「近畿地方」ではなく「中部地方」からの訪問割合の高さが目立つ。こうしたジオパークごとの地域へのブランディングの成果もこの結果から見てとれる。自ジオパークの魅力も、各地域にいかにつけていくか、それが届いているか検討する材料としてほしい。

さらに性年代別のクロス分析も実施しているが、平常時には旅行を趣味とする人が多いであろう高年齢層はほとんど訪問していないことがわかる。さらに男性 20 代からの支持が高かったのは「山陰海岸ジオパーク(京都府、兵庫県、鳥取県)」と「秩父ジオパーク(埼玉県)」だった。女性 20 代の人気が高かったのは「伊豆半島ジオパーク(静岡県)」、女性 30 代からは「三陸ジオパーク(青森県、岩手県、宮城県)」の訪問の割合が高めだった。自ジオパークの魅力が受け手にしっかり届くようになにをすべきか、今後の施策を考えるヒントにしてほしい。

また、Q3 では各ジオパークとオンライン上でつながりをつくった方法に当てはまるものを聞いている。残念ながらいずれのジオパークでも約 7~8 割が「当てはまるものはない」との回答が多いが、様々な事情でジオパークがオンライン対応をし切れていないということの証左であろう。そうした中で、「商品や地域の特産品の購入」や「オンラインで体験・訪問」については個別のジオパークで見ていただくなどすると、各ジオパークの取り組みを整理し真似するような動きが出てほしい。

なお、「訪問したジオパークにあまり満足できなかった理由」を聞いている。

結果は、おおむね回答が多かったのは「ジオパークの意味合いがわからない、なぜジオパークなのか」という点、「見るべきポイントがわからない、ジオパークとしての魅力が発信されていない」といった情報発信の課題、「交通の便が悪い、施設が古い、トイレが汚い、足場が悪い、ルート上に看板たてでの説明で十分、レストラン等の食事が出来る所が殆どなかった」などアクセスや施設面の課題があげられている。

さらに、Q6 では「ジオパークに導入すべきアイデア」を聞いている。主に①情報発信、②利便性の向上、③コンテンツ、④インフラ・施設面での提案が挙げられているが、以下のような提案内容があがった。

①情報発信

- ・ メールで季節ごとに案内して欲しい
- ・ 貸し出し用のタブレットで説明や比較ができればいい
- ・ 訪問者の、嗜好や知識レベルなどを分類する段階を(AIなども応用)経て、あなたに合うのは、このジオパークにこういう形で滞在して、どことどこを訪問して、ガイドいればそのことも紹介して、総合して、何日かかる、宿はどこそこ、食事はこれこれ、と需要の各部門に対して、情

報を出してくれるサイト構築

②利便性の向上

- ・ 時間の予約制で混雑緩和
- ・ コロナ禍で簡単にオンラインで訪問
- ・ ガイドの申し込みをオンラインで

③コンテンツ

- ・ 体験型のアクション／体験ツアーを増やして欲しい
- ・ ポイント制度／全部制覇するのが、目標楽しみ
- ・ ヨットクルージング
- ・ ドローンでの撮影／空から見るジオパーク
- ・ できれば専属の『武将隊』や『ご当地キュラクター（原文ママ）』等による出し物
- ・ ジオカードの配布／そこでしか手に入らないような物が有れば（例えば紹介カード等）集めて楽しめる
- ・ VR アプリなんか使ったら面白そう

④インフラ・施設面

- ・ 旅行サイトや宿泊予約サイトとタイアップして、ジオパークを訪れるための『公共交通機関や主な鉄道駅からの所要時間など』の情報が簡単に入手できるサービス
- ・ 地方自治体と民間団体やNPOとの連携をもっと強くし、迅速にかつ有効な整備
- ・ 1週間程度の安価な滞在型の宿泊サービス

実現までは少々時間を経なければならないだろうが、訪問者起点で考えれば DX やデジタル化の文脈から、「メールによる情報発信」「タブレット貸し出しによる解説」「予約、ガイド申込」「オンライン訪問」「簡単なアンケートからあなたに適したジオパークをレコメンドする機能」などはすぐにも実現したい内容である。

さらにコンテンツとしては、「体験型」というキーワードや「ポイント制度による訪問のゲーミフィケーション」、「魅力的な地質的特徴をドローンで撮影」する“空から見るジオパーク”、VR アプリによる新たなジオパーク体験の追求など魅力的な提案も多い。すで実現しているジオカードも同じ方向性だが、「日本 100 名城®」のような情報提供と訪問インセンティブの醸成が望まれる冊子なども一案として考えられる。

また、インフラや施設面では、ジオパークである以上、少々、アクセスが不便であるのは許容するにしても、そこまでの経路が明確でわかりやすいことが訪問者の情報収集コストやハードルを下げる可能性がある。整備という意味では、施設自体の整備、トイレ、説明看板、食事どころ、足場など挙げればキリがない話ではあるが、必要な整備はなされていくべきであろう。

最後に、コロナ禍を経て旅行は、長期間・高価な方向性も許容されてきている。その意味で、「1週間程度の安価な滞在型の宿泊サービス」や「ホテル」といった質の高い時間を過ごすための施設整備も一定程度のニーズが認められる。

コロナ禍の現状や協議会の現実を考えれば、荒唐無稽な話やすでに実現済の内容も含まれる。ただ、「満足できなかった理由」を聞いたうえで改善に向けたアイデアであり、いくつかはブレイン・ストーミング的な突拍子もない提案でありながらワクワクするような考えも含まれているように感じる。

できない理由を探すことは簡単であるが、3年にもわたるコロナ禍によるジオパークへの訪問機会の減少、それに伴う郷土意識の醸成や持続可能な地域づくりといったジオパークの目的への貢献機会の遡減を鑑みれば、「改革・改善」という現状を前提にした変化ではなく、「変革」に近い、ガラリと現状を変えるような施策も求められているであろう。

今回の調査結果が、コロナ禍を超えてジオパークの存在感や地域成果を創り出す一助になれば幸いである。

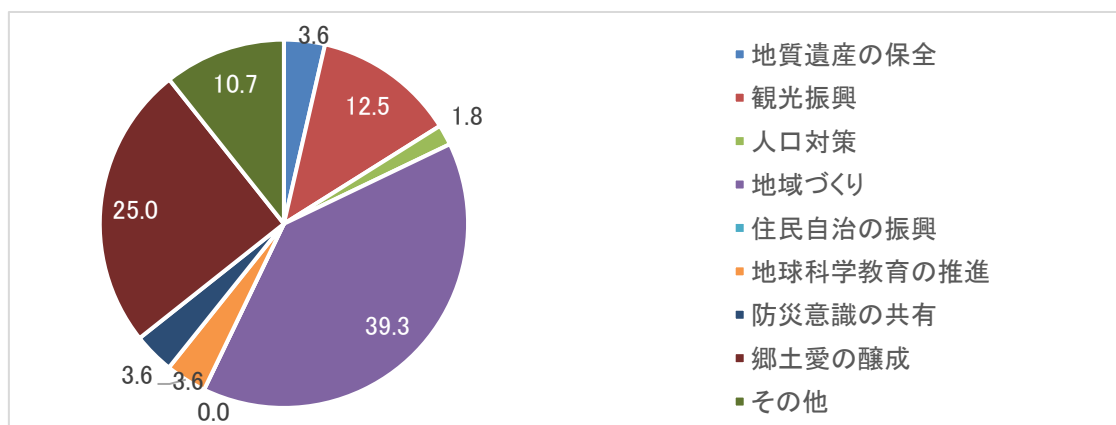
VII. 全体総括

本調査は『訪問者の視点』に立脚した調査となっているため、ジオパーク関連のソフト・ハード両面の整備等への参考にしていただきたい。

ここでは「そもそも自分の市町村がジオパークへ加盟している目的」を振り返って考えてみたい。

『活動状況調査2021』によると、「Q6:ジオパーク活動の効果として運営団体が一番期待していることは何ですか？」に対して最も回答数が高かったのが「地域づくり」、次いで「郷土愛の醸成」であった(グラフ①参照)

(グラフ①)

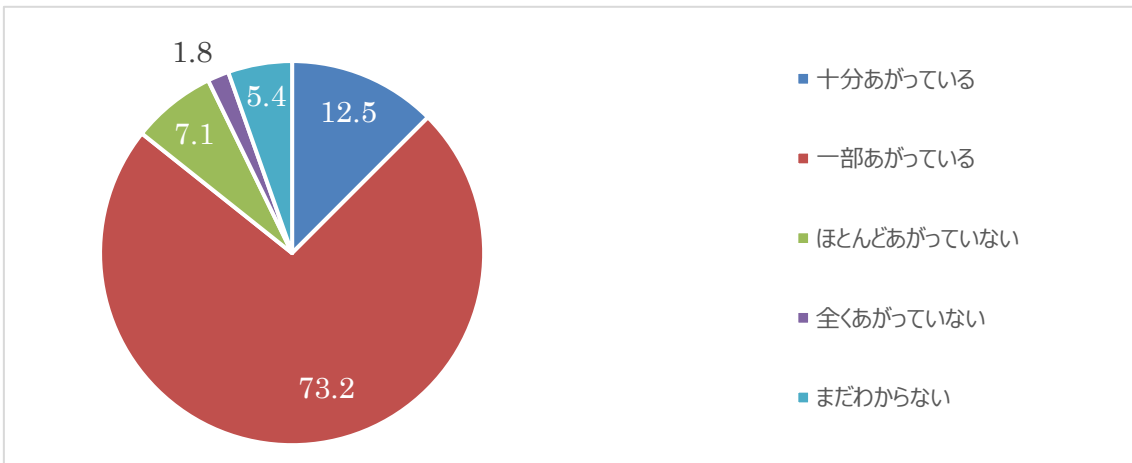


これに対して「Q8.現在一番期待していることについて、効果はあがっていますか？」との問いへの回答は「十分あがっている」「一部あがっている」の回答が約85%を占めていることから「ある程度成果が上がっている」と考えている運営団体が多いと考えることができる(グラフ②参照)。

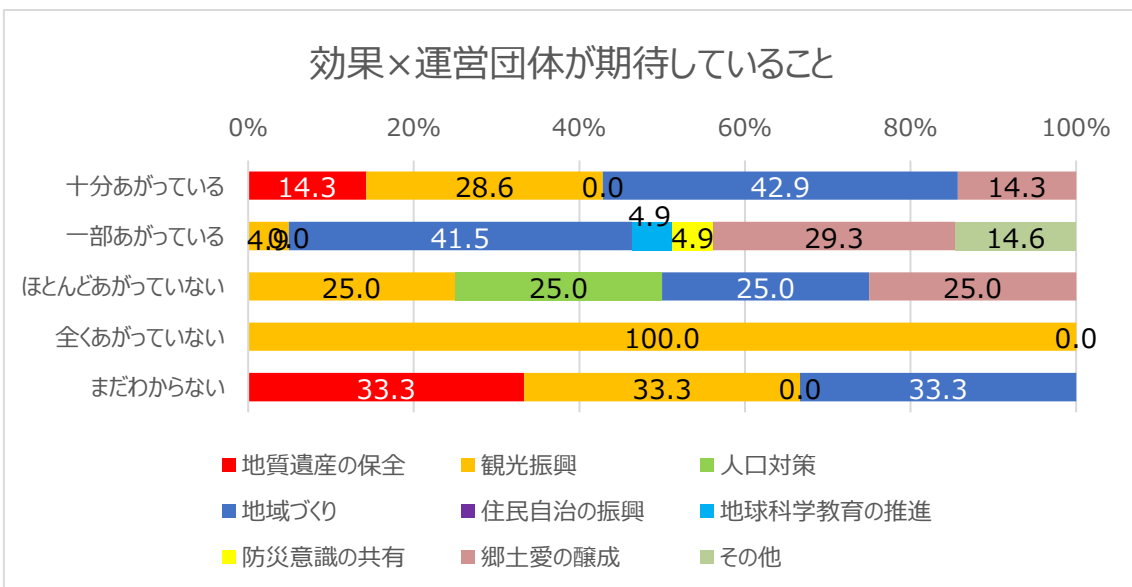
もちろん、「一部あがっている」の「一部」という表現には回答者によって差異はあるだろうから「一部あがっている」の回答幅は広いことが想像できるが、それでも「一部あがっている」と回答されるのであるからジオパークの取組は参加目的に照らしてみれば有益であると言える。

クロス集計でこの「大いにあがっている」と「一部あがっている」を詳しく見ると、大いに成果が出ているものとして「地域づくり(42.9%)」、「観光振興(28.6%)」、一部成果が見られる項目としても「地域づくり」が最も多く、次いで「郷土愛の醸成」となった(グラフ③参照)。

(グラフ②)



(グラフ③)



これらのことを読み解いてみれば、運営団体側は、ジオパークは「地域づくり」や「郷土愛の醸成」に一定の効果を上げていると捉えているため、本調査で明らかになった「訪問者の視点」は、あまり意識する対象とはならないと言えるのだろうか？

このことは「地域づくり」や「郷土愛の醸成」というイメージをどのように持っているかで異なってくる。例えば、「地域づくり」とはどのような状態を表しているのだろうか？ となれば「地域づくりが上手くいった」と考えればよいのだろうか？ そこに居住している人々が幸せと感じている人が増えれば、地域づくりが上手くいったと言えるのか？ は

たまた、高齢化が進み膠着化していた町内会活動が活発になれば「地域づくりが上手かった」と言えるのか？

仮に「居住している人の幸福度の上昇」が地域づくりのイメージだとすれば、不安や不満が縮小したり解消され、自己実現できる状態に近づくことが肝要かと思われるが、これは単一的な要素が満たされれば達成できるという単純なものではないだろう。地域に住んでいる人の身の回りの充足はもちろんのこと、生活に欠かせない衣食住の充実や文化や通信などの環境も必要であろう。

すなわち、経済循環など生きていくうえでの最低限必要な社会インフラの整備は必要となり、そこには居住人口や時間単位での賑やかさ等も重要な要素となる。賑やかさは、地域に居住する住民だけでなく外から訪問する者も含まれる。

これらのことから、本調査で明らかになった「訪問者の声」は「改善への提案(贈りもの)」と言える。

自地域のジオパークと本調査から得られた訪問者の声とを照らし合せ、“本物”の地域づくりや郷土愛の醸成へ向けた取り組みの参考としていただけると幸いである。

以上

2022年3月18日

一般社団法人地域経営推進センター

代表理事 中村 健

青木 佑一